

森のたより

ガイドが語る森林セラピー  
妹尾明美さん

「植物が好き」で森林セラピーガイドになりました。ですが、山の植物は種類が多く、大人になってからは、なかなか覚えられなくて苦労しています。



は製鉄産業による大規模な木の伐採も行われていました。また、生活に利用してきた植物の話や学生さんに人気の蓑の作り方もお話をしています。

そこで、私が元々好きな、考古学、民俗学、民族学の視点から、森の案内をしています。飯南町のセラピー基地のある場所は、たたら製鉄が行われていた場所です。自然豊かなセラピー基地周辺ですが、かつて

「癒し」をアピールしている基地ですが、森と人の関係を考えるきっかけになってほしいと思います。ガイドをしています。

森林セラピー博覧講座

前号に続き、森林セラピーの五感シリーズ「視覚編」。森林セラピーでは、ガイドの案内で、普段と違った視点で自然を観察します。そこには、驚きがいっぱい。



長い手のようなところ。刺激を与える。と体の半分を90度に曲げて威嚇し、まるで名古屋城のシヤチホコ。そう「シヤチホコガ」の幼虫です。

■お問合せ  
産業振興課 地域おこし協力隊  
電話 76・2214

短歌

頓原公民館短歌教室 七月詠草

生かされて九十歳を励む今日メロンハウスに蜜蜂といる	藤原 正
戸惑いの人の心を癒すこと神話街道あじさいの花	岡田 繁富
咲き盛る庭のあじさい・薔薇・しょうぶ恵みの雨にほつと眺める	片岡 千鳥
ややこしや画数多き漢字読むルーベと虫めがね二つ持ち居て	千葉トミネ
嫁がくれし見舞のりんごうれしくて母子の情をかみしめて食む	景山サチ子
つゆ晴れの畠仕事は多忙なり大事な芽こぎ素手にて触る	三上 朋子
廃屋の屋根つき板塀おおう葛年経る毎にみどり鮮やか	熊谷 允子
孫のおかげ応援たのし高校野球「ケガするなよ」と今朝も声かけ	景山 牧栄
亡き母と蛭ながめし川の辺の今もやさしきせせらぎの音	本間 啓美
棚上の猫は昼寝か足だけが下から見える日曜の午後	石川 隆
幾重にも濃淡折り交ぜそそり立つ聖地の香り漂かせつつ	安部 徳則
梅雨の間や庭の終枝剪定見映上りて腰は揚がらず	山本 正敏

なく、通常は2日間、3年に1度だけ3日間の学園祭が開催されています。鵬雲祭となつてからは、毎年3日間開催しています。



飯南高校では、毎年夏の終わりに「鵬雲祭」を開催していますが、この鵬雲祭という名称の由来をご存知でしょうか？  
「鵬雲」とは、連なる中国山脈を湧き昇る雲、南の空をめざして羽ばたく大鵬の姿、崇高な大自然の中ではぐくみ雄飛の志をイメージしています。昭和38年4月、川本高校赤来分校と三刀屋高校頓原分校が合併し、飯南高校として独立したときに「鵬雲」のイメージをもとに校章や校歌がつくられたようです。

鵬雲祭と呼ぶようになったのは平成4年から。それまでは特定の名称は

大鵬とは中国に伝わる想像上の大きい鳥だよ



■お問合せ・情報提供  
国道54号活性化アクションプラン推進協議会  
電話76・2864



今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

大切に  
親からもらった  
この命

志々小3年 藤原 弦史さん  
志々小5年 藤原 みず季さん  
家族名 藤原 さち恵さん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

すこやか

7月届出分

新生児 山下 のあちゃん 届出人 地区 ジェシー(上来島)

やすらぎ

7月届出分

お名前 梶田 郁宗様(83) 親族 地区 芳(敷波) 曲戸 昭男様(87) 弘(町区)

今日の表紙

強い夏の日差しが照りつける8月5日、中国経済産業局主催の「サクラプロジェクトin島根・飯南町」が開催されました。

参加者は、広島県や町内を中心に13人。目的の「もりのす」へ到着すると、「涼しい」と口々に話していました。飯南町まさに夏の避暑地。

※サクラプロジェクト  
「Oyasing×Life(サイクリング・クロスライフ)Project」の頭文字から、サイクリングをツールとした新たな観光関連産業を創出する取り組み

